



法人理念 「ひとりの人を大切にした まごころ介護」
「ひとりの人の可能性を信じる まごころ介護」

青空がとても眩しく感じる今日この頃、皆さまいかがお過ごしですか。夏はパワーみなぎる、活力ある季節。お年寄りもスタッフも暑さに負けず、心地よい昼下がりのお昼寝も楽しみつつで夏を満喫です。

寄り添いのこころ～もみじのケアから～

やす子さんとの関わりを通じて 第一回(全4回)



今から8年前、やす子さんと私達の関わりは始まりました。娘さん夫婦と同居していたやす子さん。グループもみじが運営する【宅老所夢いちもんめ（認知症対応型通所介護）】を週6日で利用されることになりました。私たちの理念は、お年寄り一人一人に寄り添い、その方の最期の時まで、輝いた日々を住みなれた場所で送って頂けるように、お年寄りと、ご家族のサポートをさせて頂くこと。通所での利用も、宅老所の中で過ごすだけではなく、スタッフがやす子さんと一緒に、長年行きつけの美容院へ足を運んだり、近所の友人を訪ねたり、お友達が開かれた“おやき屋”さんへ行ったり、馴染みの場所・関係を大切にしたい関わりを続けて来ました。



3年前の平成23年12月、同地域に小規模多機能型居宅介護施設【夕やけ小やけ】が開所しました。やす子さんのご家族の「最期まで在宅で見ていきたい」との想いに応えるべく、通所・訪問・泊りを24時間365日柔軟に組み合わせながら、在宅生活を支える事のできる【夕やけ小やけ】へとサービスを移行しました。

移行後は、これまで通り週6日の通所を利用され、以前と変わらない関わりを続けてきましたが、年月の経過とともに少しずつお体の機能が低下。居場所となっていたソファに、横になって過ごすことが多くなりました。平成25年10月頃には、自力での歩行が困難になり、食事を摂る事への意欲も低下が見られるようになりました。そのような状態変化はありましたが、できるだけこれまでの生活が継続できるように、やす子さんと長年関わっているスタッフが、細かく日々の様子を見ながら、歩行を援助したり、ご本人の好きなパンやアイス、甘いジュース等をペースに合わせて勤めるといったことを行い、やす子さんのご意思に沿った対応を心掛け実践して行きました。しかし、状態変化が見られてから1ヶ月後の11月、肺炎を発症し入院。私たちは入院中でも認知症の進行が少しでも食い止められるように、また、少しでも元気を取り戻してもらえるようにと、顔なじみのスタッフが訪問という形で毎日病院へ行き、やす子さんと面談をしました。同時に、タイムリーな情報が得られるようにと、病棟看護師からその日の状態確認も行いました。

無事、肺炎の治療は終わりましたが、病院側から、「今後は経口摂取は困難で、経管での栄養摂取を検討してほしい」との話を受けたのです。しかしご家族には、経管にはしたくないとの意思がはっきりあったため、病院側へその旨をご家族と一緒に伝えさせてもらいました。すると病院からは、「経口摂取は困難であり、経管栄養も行わないのであれば、もってあと数ヶ月。今後どのように看取りを迎えるかを考えておいてほしい」と伝えられたのです。 次回へつづく…

「認知症の人の暮らし支援講座」開催中



【受講生の感想より】

今年で15回目をむかえる、生活支援講座も6月は飯田・7月は佐久で多くの受講生にご参加頂いております。8月には松本・9月には長野で開催を致しますので、皆さまのご参加お待ちしております。申込書は法人ホームページからダウンロード頂けます。カリキュラムや講座のスケジュールも合わせてご覧ください。

私は介護の仕事に就いて3か月目に入りました。認知症のお年寄りと接し、お年寄りの気持ちをなかなかつかめず、毎日が勉強です。「介護とは、してあげるのではなく、本人の気持ちを引き出すこと。そのためには、その人の毎日の状態を見て理解する。」昨日のお年寄りと今日のお年よりは違います。また、先ほどまでの表情と今の表情は違います。心のギャップは個人差があるということですが、行動パターンを少しでも理解できることが大切かと思えます。社会を支えてきた人生の大先輩のお年寄りにいろいろ教えて頂き、寄り添えるよう努力していきたいと思えます。そして、常に笑顔で接し、少しでも安心して居ることができる場所をつくってあげられるよう頑張っていきたいと思えます。今回の研修は、とても勉強になりました。学んだことをいかし、一歩ずつでも近づけるよう、努力していきたいと思えます。(介護職 女性)



グループもみじは発足当初からその人なりの人生を支え、その人なりの人生の終え方を支える実践してきました。その数多くの実践結果を通して、多くの人々にノウハウを伝えるために現場実習を受け入れております。詳しくは資料をお送りいたしますので、事務局までお問い合わせください。026-227-4425 (平日 9-17)

もみじの事業所紹介～宅幼老所夢いちもんめ～

※ご家族の許可を頂き写真を掲載しております。

宅幼老所夢いちもんめは2006年3月に開所した、認知症の方を対象としたデイサービス事業所です。「元気な顔で集まろうね」とお年寄り同士が声を掛け合って、畑仕事や台所仕事、買い物やドライブなど「もうひとつの我が家」として1日をゆっくり過ごされています。

はじめはあまり通うことに乗り気でないお年寄りも、夢いちもんめの居心地の良さに、いつの間にか「こっちにおいで」と孫のようにスタッフを可愛がり、朝のお迎えを心待ちにしてください。一人暮らしが長く周りとの交流が少なくなっていた方が「オラがやってやるで」と一生懸命仕事をして仲間との冗談話で入れ歯が落ちてしまうほど笑ってしまったり、自宅のカレンダーに二重丸を付けて通いに来ることを楽しみにして、仲間が集まるとリーダーシップを取り、スタッフの悩み相談にも親身に聞いて下さったり。日々笑いと心むむエピソードが夢いちもんめには溢れています。

お年寄りとお過ごし今という瞬間と新しい出会いを大切にしたい夢いちもんめに、ゴタ話をしにいつでも遊びに来て下さい。※ゴタとは松本地方の方言で「冗談」という意味です。



介護でお困りの事などお気軽にお問い合わせください。

見学も随時受け付けております。

- | | |
|------------|-------------------|
| 宅老所みんなのあもり | 026-226-0903 (柳澤) |
| 宅老所さくら | 026-244-7104 (中村) |
| 夕やけ小やけ | 0263-87-2760 (森田) |
| 宅幼老所夢いちもんめ | 0263-26-1680 (今井) |
| 居宅支援青もみじ | 0263-87-1026 (矢野) |

認知症のお年寄りにはどのように接していけばいいのだろう…?

認知症のお年寄りを地域で支えるために何が必要だろう…?

自分の親は自宅で看取りたいがどうしたら…?

そんなお悩みございませんか?

グループもみじでは、悩みや疑問を解決し、安心してお年寄りと寄り添って頂けるよう、認知症ケアや地域人権等についての講演や施設研修のご依頼も随時受け付けております。詳細は事務局までお問い合わせください。

NPO法人グループもみじ 〒380-0941 長野県長野市葭ヶ淵 1861

電話 026-227-4425 FAX 026-217-7764 ホームページ

グループもみじ

検索